

JJF2020 活動報告

2020年9月20 - 21日の二日間、「**ジャパンジャグリングフェスティバル（以下、JJF）2020**」が行われました。例年とは異なり、オンライン・オフライン混合の初めての試みでありながら、当日は現地開場に2日間合わせて300人以上の方にご来場いただき、またオンライン会場も200人以上の方に利用いただきました。ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

JJF開催から2週間が経ちました。現在のところ、JJFに参加された方の中で新型コロナウイルスに感染したという報告はJJF実行委員会に上がっておりません。そのため、これをもってJJF2020が無事終了したことを報告させていただきます。あわせて、JJFが無事終了したことを受けJJF当日の写真を公式HP・SNSで掲載いたします。

2020年現在、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、様々なジャグリングイベントが中止・1年以上の延期となりました。1999年から21年目を迎えようとしていたJJFも当初の計画であった福井県での3日間のイベント開催について計画の変更を余儀なくされました。

日本ジャグリング協会では、「ジャグリングの健全な普及と振興を通じて日本国内におけるジャグリングの発展に寄与すること」を目的に掲げており、これを満足するためにリスクを最小化できるイベントの実施を模索し推進いたしました。また、同時にJJF2020は以下に述べる理念を達成することに主眼をおいて計画が開始されました。

1つめに、コロナ禍のジャグリングイベントの礎を作ること。リアルな場所でのイベントが難しい一方で、ジャグリングはオンラインイベントに移行しづらいといった側面があります。その理由として、オンラインのジャグリングイベントは参加するためにインターネット環境が必須でありそのためジャグリングの練習が制限されること、画面を見ながらジャグリングするには視覚的制約があるなどが挙げられます。そのため、オフラインのジャグリングイベントは必須であると私たちは考えました。そういったジャグリングイベントをコロナ禍であっても行うことで練習環境が少ないジャグラーの方にジャグリングを続けてほしいというのを理念としました。

2つめに、今までのJJFの雰囲気オンラインでも再現すること。JJFは前述の通り今年で21回目を迎える日本で一番大きなジャグリングイベントです。また、規模も大きく、二泊三日の期間、寝食を忘れジャグリングに没頭するイベントです。そんなJJFを例年と異なる形でも再現したい、というのが、このイベントの生まれたきっかけであり、それを満たすことをコロナ禍で行うJJFの理念としました。

最後に、全国の人が参加できるイベントであること。オンラインイベントは「日本全国どこからでも参加が可能」といった大きなメリットがあります。また、例年JJFは大きな一つの会場を貸し切りイベントを行っていますがJJF2020では会場を全国に分散・配置することでジャグリングイベントに気軽に参加できる（敷居を下げる）ことを理念としました。

また、JJF2020を通し、新型コロナウイルスの感染対策に関する情報をHP上にまとめて掲載しています。今後オフラインイベントを計画される方は改良して利用していただければ幸いです。

最後になりますが、JJF2020を実施するうえで大変多くの方にご協力いただきました。納期が短い中対応を引き受けていただいたJJF2020実行委員会共同代表の上田さん・花田さん、会場の確保から会場の指揮まで担当していただいた各会場代表者の方々、オンラインイベントの肝となる部分を担当していただきその他マネジメントまでご尽力いただいたWEB統括尾納さん、感染対策にあたりガイドラインの作成から当日の待機をしていただいた救護・感染症対策統括皿回しジャグラーまさやんさん・現地救護班の方々、その他たくさんの人々に支えられて本イベントは開催することができました。深く感謝申し上げます。

JJF開催にあたり、スピード感が足りないことや広報が不足している点などについて外部からお叱りを受けることがありました。上記のように日本ジャグリング協会として不足している点が多々あります。今後、JJFをより良い形で継続していくために、協会として尽力していきたいと思っておりますので皆様にはこれからもご意見ご要望をお知らせいただけますと幸いです。

2020年10月5日
日本ジャグリング協会 JJF担当理事
星野 充宏